

FXで勝つためのヒント

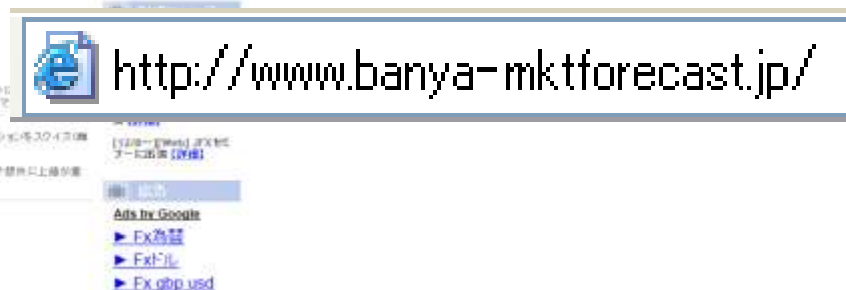
バーニャ マーケット フォーカスト

代表 水上 紀行

<http://www.banya-mktforecast.jp/>

自己紹介

- 水上 紀行(みずかみ のりゆき)
- バーニャ マーケット フォーカスト 代表
- 外国為替経験30年のストラテジスト
- コメント・コラム執筆 講演活動
- 日経CNBC・ラジオ日経 ゲスト・コメンテーター



本日の流れ

- 移動平均線の不思議
- トレードで特に心がけたい事
- 値動きから相場を読む

急騰・急落のメカニズム

マーケットポジションの偏りを読む

値動きからさらに読めるもの

移動平均線の不思議

単純移動平均線

- たとえば、日足を例にすると
- 当日から遡ったある一定期間の終値平均値を、1日ずつずらし、グラフ化し、日々の相場の傾向をみようとする分析手法
- 単純が一番

移動平均線の不思議

- なぜか、移動平均線で上げも下げも引っかかりやすい
- 最もレジスタンスやサポートになりやすい
- トレーダーである以上は、なぜと思うよりも、そういうものだと思って、活用することが先決

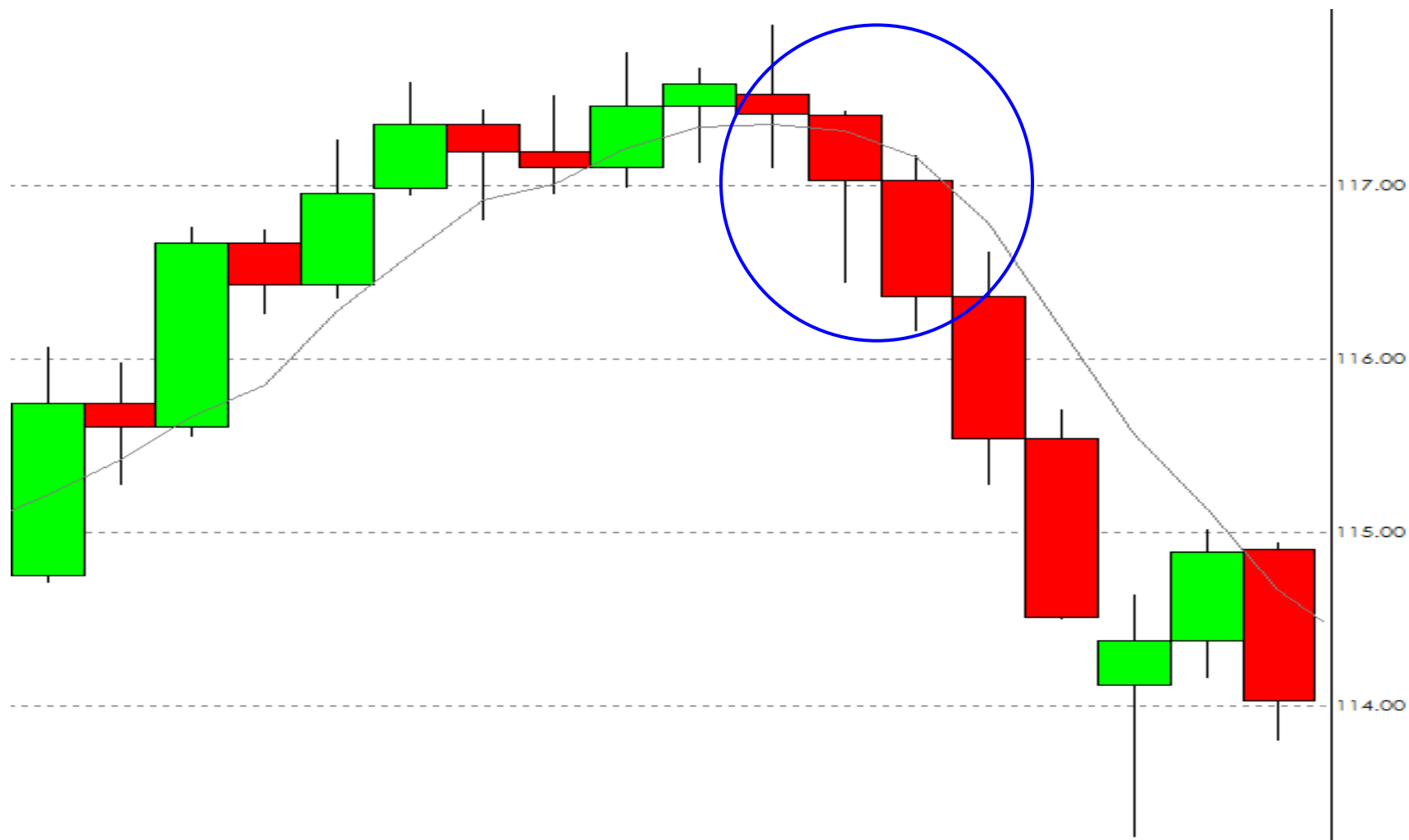
私が見ている期間

- 5、10、25、90、120、200
- なぜ、この数値なのかは、絶対的なものではない
- 長く見てきて見慣れているから
- 各自の好みで良い

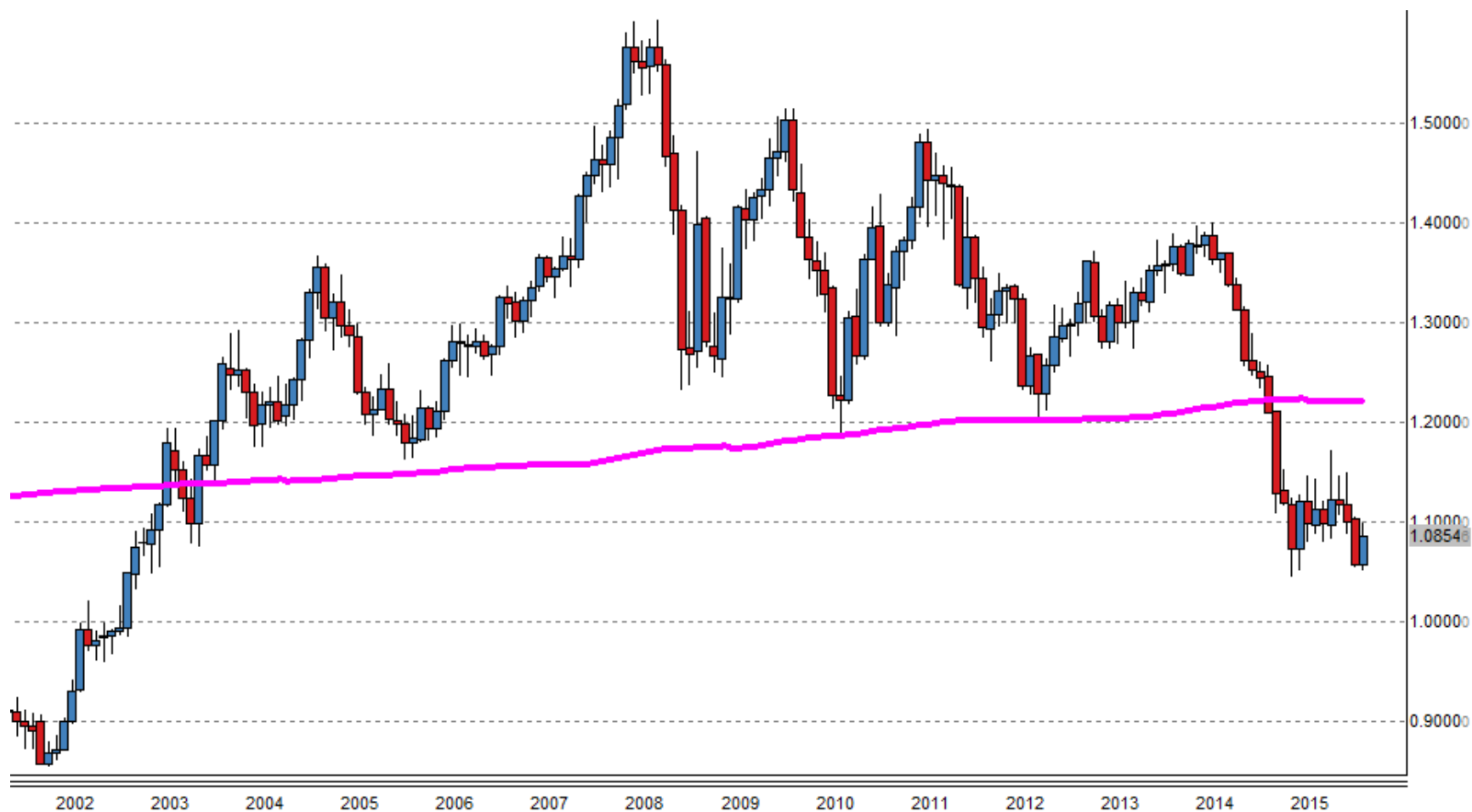
ただし、見るポイントあり

- 漫然として見るのではなく、見るべきところを見る必要がある
- 移動平均線自体の傾斜角度
- 移動平均線とロウソク足とのかい離幅
- 移動平均線の期間によっても特色

5日移動平均線



200力月移動平均線



人気パターンの落とし穴

- 知っているのは、自分だけだと思ったら、実は皆が見ていて、ポジションが偏りの逆方向に動いてしまうパターンがある
- ゴールデン・クロス
- デッド・クロス

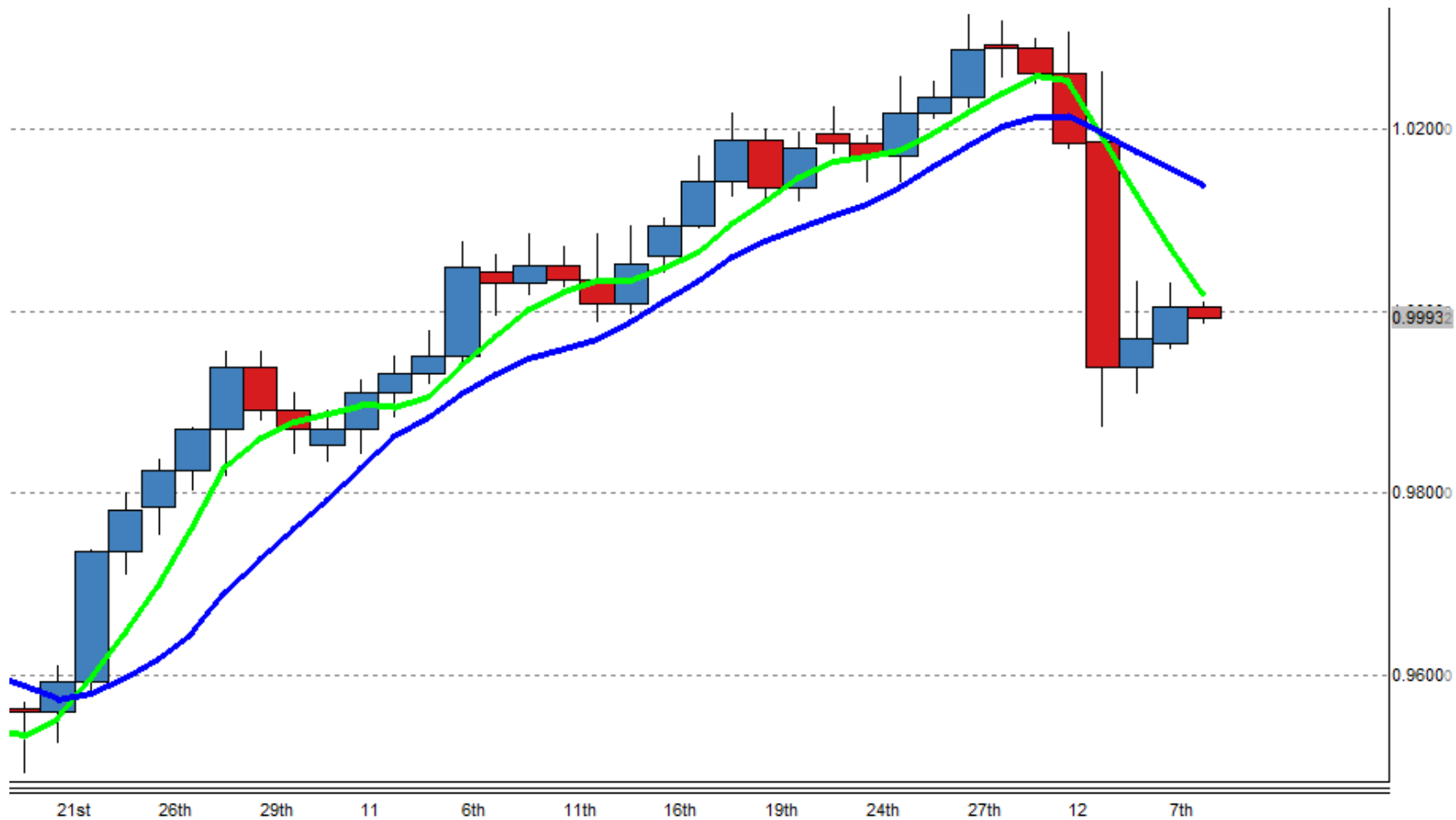
ゴールデンクロス(△)



その後



デッドクロス(成功例)



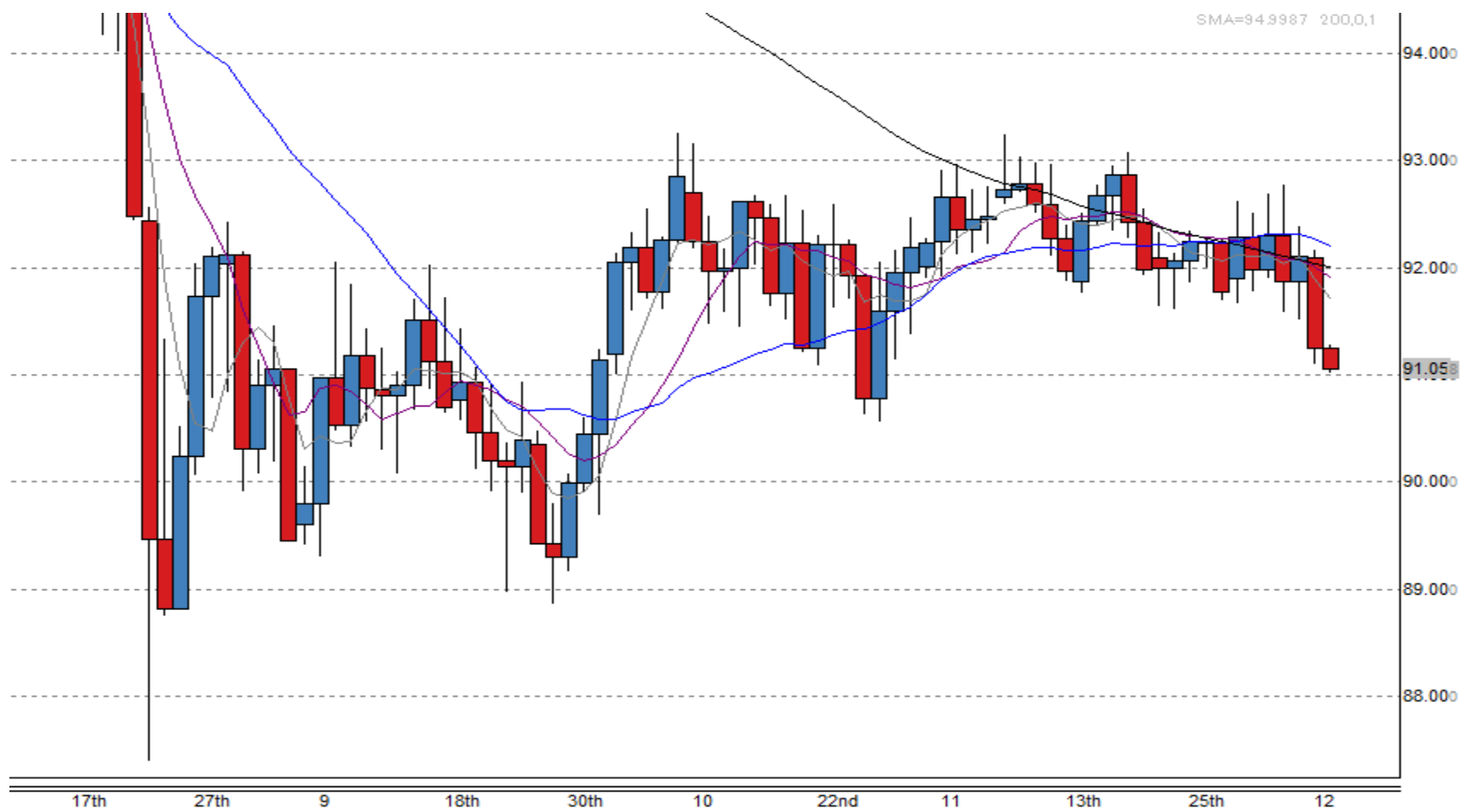
まがい物



相場が動くタイミングを知る

- 複数の移動平均線が収束すると、相場が動き出すタイミングを示す
- ただし、方向はわからないので、自分の相場観あるいは、他のツールとの併用が必要
- 緊急地震速報と同じように、構えておけるだけでも意味は大きい(逆張りを止める等)

複数の移動平均線の収束



移動平均線によるオーダー方法

- 移動平均線のレジスタンス、サポートとしての強い特性を利用したのオーダーの出し方
- 基本的な考え方
つくかつかないかギリギリのところにオーダー
- 相場は基本的にレジスタンス、サポートを越えるぐらいまでいったん戻す傾向がある

オーダーの実例



トレードで特に心がけたい事

我慢しなくていい

- 利食いたいと思えば利食う
- ヤバイと思えば、逃げる
- 相場は、時々刻々、構成要素が変わっていく
- 今まで通用したことが、通用しなくなることはよくあること

自分を信じる

- 利食いも損切りも、「自分が馬鹿を見る」という発想から、脱却する
- もっと、明るく前向きに、「利食い大好き」
- 余分なことは考えずに、ルール通りに機械的に「損切る」

相場はこれ一回限りではない

- 一度のチャンスに乗り遅れたとしても、チャンスはいくらでもある
- それよりも、「これを逃したら後はない」と自分を自分で追い込んでしまう方が危険

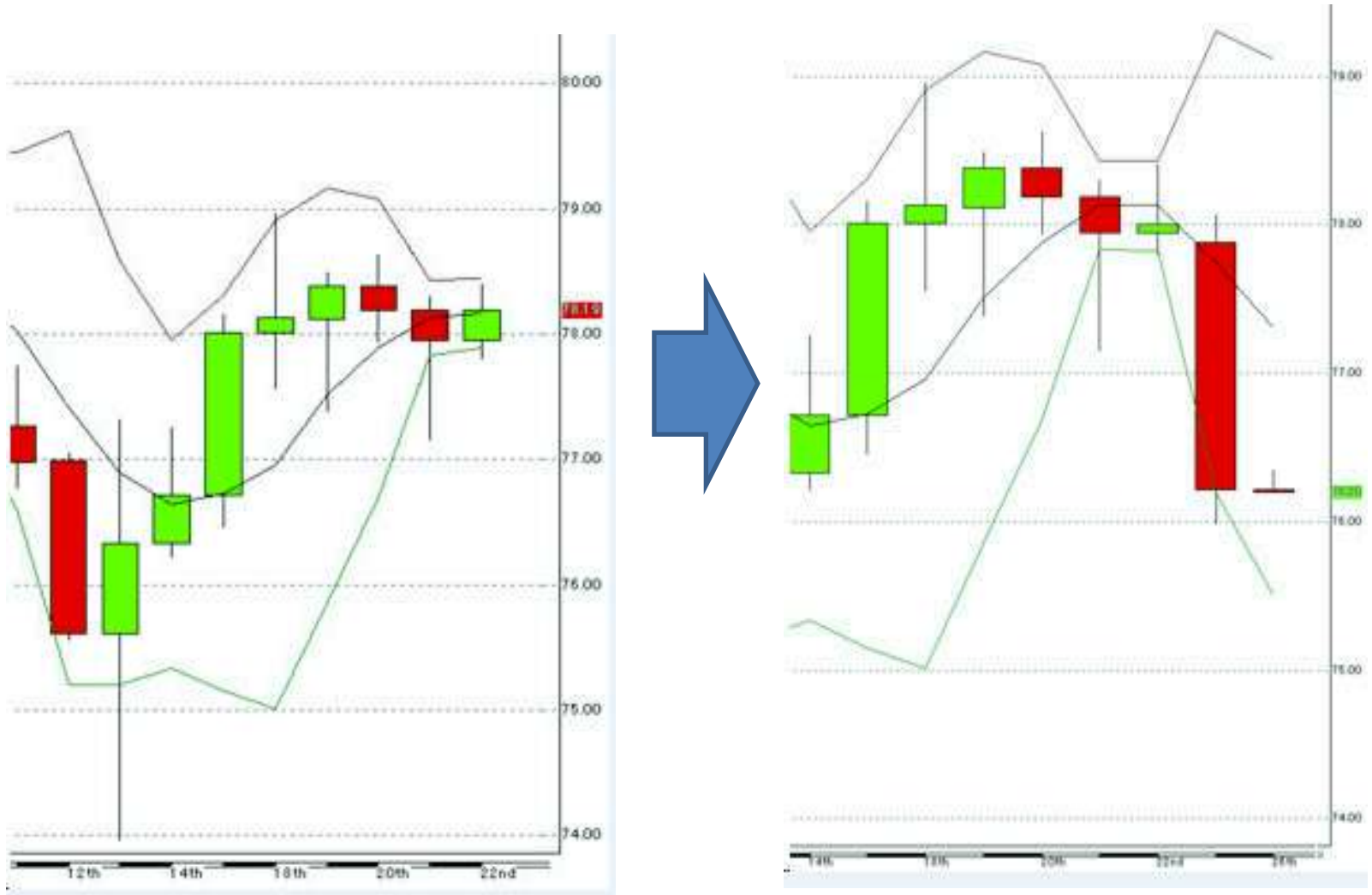
エントリーのタイミングが大事

- 方向感は、大方の人が合っている
- しかし、早くエントリーしたために、道半ばで討ち死にすることが多い
- タイミングが大事
- 思う以上にタイミングの到来は遅い

エントリーのタイミングを知るには

- 前述の複数の移動平均線の収束に加え、
- **ボリンジャーバンド・ファイブ** (期間:5 偏差:2) が、より精緻にエントリーのタイミングを示唆する
- 2時間足ぐらいから使えるが、日足がベスト

ボリンジャーバンド5日間 (期間:5、偏差:2)



値動きから相場を読む

値動きは多くのことを語る

- 値動き分析 インターバンクディーラーが活用
- プライスの重い堅いで、相場の方角を知る
- マーケットのポジションがわかる
- マーケットのセンチメントがわかる

値動き分析への気づき

- インターバンクディーラーと顧客の大きな違い
- 顧客 ヒット(プライスを叩く)するだけ
- インターバンクディーラー
ヒットするだけでなく、ヒットされる
意図しないポジションで収益を追求する仕事
→値動きに敏感になる

相場観で自分のプライス作る

- インターバンクで、他行に呼ばれても、ロイタースクリーンに出ているレートとは、全く違う自分の相場観を示すレートを出すことがある
- たとえば、
- ロイター 121.40-45 出すレート121.00-05

値動き分析のポイント

- 自分を感じる値動きからの感触を信じる
- 噂、オーダー情報に、惑わされない
- 特に、マーケットの大多数が同じことを考えていたら乗らない

急騰・急落のメカニズム

急騰・急落のメカニズム

- 「すごい買い、よくよく聞けば、ロスカット」
- 基本的に、ロスカットの集中
- 急騰 ショートポジションの買戻し
- 急落 ロングポジションの投げ

急騰



急落



新規買い、新規売りではないのか

- ポジションメイクは、**静かに丁寧**に行われる
⇒大口だと、1週間かけて作る場合もある
- ロスカットは、**できるだけ早く**投げて、マーケットから**ゲッタウト(脱出)**したい
⇒ものすごいパワーになる

急騰、急落後の相場

- マーケットのポジションは、**ほぼスクエア（ノーポジ）**
- ショートのロスカットの集中後、**高止まり**
- ロングのロスカットの集中後、**安値圏**に張りつく

急騰後



急落後



相場が正常に戻るには

- 急騰、急落後は、**ある程度の時間の経過**がないと、正常な相場には戻らない
(たまにはVの字カーブの場合もある)
- 大多数の同意が得られるような**新たなテーマ**や、**新しいフロー(資金の流れ)**が出れば動き出す

マーケットポジションの偏りを読む

マーケットポジションの偏りを読む

- マーケットポジションの偏りとは？
- マーケットのポジションが、ロングあるいは、ショートに傾いている状態
- ロングに偏っていると、売り気になる
- ショートに偏っていると、買い気になる

マーケットポジションの偏りを読む

- シカゴIMMポジション
 - 火曜のポジション、金曜に公表
- FX会社の情報
 - 一部個人投資家のポジション
- 値動き分析
 - マーケット全体のポジション

値動き分析のツール

- プライス

USD/JPY 0.3		EUR/JPY 0.6		GBP/JPY 1.3		AUD/JPY 0.8	
BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK
122.04 ¹	122.04 ⁴	133.49 ²	133.49 ⁸	184.73 ⁴	184.74 ⁷	88.40 ⁷	88.41 ⁵
Lot数 13		Lot数 25		Lot数 25		Lot数 25	
1Lot=1,000		1Lot=1,000		1Lot=1,000		1Lot=1,000	

- チャート



ジリ高



ジリ安



横ばい



値動き分析を自分のものにするには

- 数多くの経験を積むことが大事
- 今ある相場がどういうストーリーによってできてきたかを推理する
- とても役に立つのは、日々、ロンドン勢がなぜ売りだったり買いだったりで、その日参戦してくるのか、体験的に学習する

ロンドン勢のトレードスタイル

- デイトレ (O/N、O/Wはやらない)
- 人がいやがることをして、儲けようとする
- しつこい (獲物は逃さない)

LDN ショートスクイズ



LDN ロングの投げを誘う



LDN、東京での動きをチェックし攻撃



値動きからさらに読めるもの

値動きで投資家の動きがわかる

- EUR/USDの相場は主に投資家(※)のフロー(資金の流れ)によって形成されている
- (※)投資家: 政府系ファンド、ペンションファンド(年金運用機関)、中央銀行など
- こうした投資家の動きを値動きで、把握できることがある

投資家の動き、コール・オーダー



＜リスク開示＞

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合もあります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師(所属会社を含む。)は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

＜注意喚起＞

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生可能性があります。さらに、レバレッジ効果(想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み)や為替レートの変動等によって注文(ロスカット注文を含む)が約定しない場合等、元本を上回る損失発生可能性があります。特に、マイナー通貨(流動性の低い通貨)の取引をされる場合、元本以上の損失発生の高くなります。加えて、スワップポイント(通貨間の金利差調整額)においては通貨ペアやポジションの状態(売りまたは買い)によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社(相対取引)となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号:ヒロセ通商株式会社

業務内容:第一種金融商品取引業

登録番号:近畿財務局長(金商)第41号

加入協会:金融先物取引業協会会員番号1562